



令和5年1月11日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第32号

「かまりんピック」で楽しみました。

12月23日（金）の2・3校時、全校スポーツ大会である「かまりんピック」を実施しました。「かまりんピック」は昨年度から始めた行事ですが、異学年でチームを編成し、協力することで、縦（異年齢間）の絆を深めることを目的にしています。



今年の種目は、全校生徒で楽しめる競技が良いのではということから、3年生が「インディアカ」と「アルティメット」の2種目を考えました。

「インディアカ」は、「インディアカボール」と呼ばれる羽根の付いた特殊なボールを直接手で打ち合うバレーボールタイプのスポーツです。手で打ち合いますが、なかなか思うようにはいかず、羽根も痛んでしまいましたが、楽しんでプレーしていました。また、「アルティメット」は、バスケットボールとアメリカンフットボールを合わせたような競技で、frisbeeを投げてエンドゾーン内でfrisbeeをキャッチできたら得点になるというルールです。一生懸命frisbeeを追うのですが、チーム内の意思疎通は難しく、得点できたときは思わずガッツポーズがでるほど、盛り上がっていました。

特に、保健委員会の皆さんは、この日に向けて企画や準備をしたり、昼休みの練習参加を呼びかけたりするなど、事前の取組が素晴らしく、当日は大成功となりました。仲間と一緒に身体を動かして心身ともにリフレッシュできた2学期最後の登校日でした。



「防犯教室」で「護身術」を学びました。

12月23日（金）、防犯教室を実施しました。終業式を終えると、長期休業に入るという理由から毎学期、下蒲刈駐在所 加計 慎太 様、蒲刈駐在所 井上 雄司 様に来校していただき、「防犯教室」を実施しています。冬休み中は、交通事故やSNSに関するトラブルなどに注意ほしいということに加えて、今回は「護身術」を少し教えていただきました。

不審者に遭遇した場合は、とにかく走って逃げて、相手から離れることが大原則です。しかし、「護身術」では不審者に腕などを手で捕まれたときの逃げ方などを、実技を交えて教えていただきました。少しの力で簡単に不審者の手はずすためのコツには、生徒のみなさんは納得の表情を浮かべていました。不審者に遭遇したときにどのように安全に逃げるかを今後も学び、自分の身を守る方法を身に付けましょう。



生徒会役員委嘱式と引継ぎ式を行いました。

1月10日（火）、生徒会新役員の委嘱式と新旧役員の引継ぎ式を行いました。旧役員の皆さんは、生徒会のリーダーとして様々なことにチャレンジしてくれました。遠足や運動会、発表会などの小中合同の行事はもちろんですが、毎月の目標を定めて各委員会活動も進めることができました。また、先生や保護者の意見も踏まえながら、時代の流れに合うように生徒指導規程の改定にも取り組みました。

学校生活をより良くするために、様々な企画を考え、先頭に立って物事を進めることには大変なエネルギーを使ったと思います。しかし、それは大変貴重な体験であり、この積み重ねは自信となり、リーダーシップを身に付けてくれたと思います。旧役員の皆さんが頑張ってきたことは生徒会の伝統となり、その伝統を新役員の皆さんにはしっかり受け継ぎながら、思い切って生徒会のために力を発揮してほしいと思います。今後の活躍を期待しています。



新役員の紹介

会 長	岩崎 希風	さん
副 会 長	石原 悠暉	さん
広報委員長	籾岡 凜	さん
保健委員長	木村 暖	さん
生活委員長	井上 青波	さん